

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	017035	事務事業名	教育指導一般事務事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の完全実施に向けて、改訂の主旨の理解と円滑な移行について取り組みます。 ・基礎や基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進し、自ら学び活動できる子どもの育成に努めます。 ・命を大切に、他人を思いやる心を育てる「共に生きる教育」の推進を図るなど、「生きる力」を育む教育の充実にも努めます。 			25年度市民評価の満足度	【幼児教育や義務教育】 51.10%

事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 学校教育課、市内の小・中学校、児童・生徒	意図(どういう状態にしたい): 学校教育の円滑な実施へつながる。	事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育課運営上の必要経費。 ●教育支援委員会、通学区審議会等に係る経費。
--------------	------------------------------------	-------------------------------------	-----------	---

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	臨時職員の雇用、給与支払事務、入学通知、卒業式告辞作成、通学区関係、派遣指導主事業務					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
							直接事業費	千円	80,598	80,443	81,492	81,374	81,374
事業目標	目標名	学校運営	計算式	運営校数/全学校数	単位	%	(予算額) うち一財	千円	80,593	80,443	81,492	81,344	81,344
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	80,795	79,980		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額) うち一財	千円	80,795	79,980			
	実績値	100.0	100.0	100.0			正職員人件費	千円	4,029	4,067			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.55	0.55	0.76		
							支出コスト	千円	決) 84,824	決見) 84,047			

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
	事業の分類					正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	教育指導一般事務事業 (経常的事務事業)	周南市立の小中学校、学校教育課	学校教育課運営上の内部管理事務	円滑な事務執行	学校関係必要物品の手配等 派遣指導主事関係事務 学校教育栄光賞授与式関係事務 教育支援委員会関係事務	0.18	0.1	72,251	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
②	臨時・嘱託関係事業 (経常的事務事業)	周南市立の小中学校、学校教育課	学校教育課の臨時・嘱託職員の雇用関係事務	円滑な事務執行	臨時・嘱託職員の雇用及び給与支払事務	0.1		1,518	否	可		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	なし					A	改善案					
	なし					A	改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③	通学区審議会事業 (経常的事務事業)	周南市民	通学区審議会運営事務	必要に応じ審議会を開催する	通学区審議会の開催	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
							0.06		52	否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価					
							A	改善案			
	④	小・中学校パソコン等管理 事業 (施設管理運営事業)	周南市立の小中学校	小・中学校のパソコン保守 管理事務	円滑な保守管理	小・中学校のパソコン保守管理	0.11		6,159	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価					
							A	改善案			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	学校ICTの充実(PCのリース期限切れによる更新、グループウェアの整備)	前年度までの指摘事項	経費の削減に努めながら実施されたい。	指摘事項に対する改善状況	必要最小限で実施
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点			

所管課評価

評価	B	A	計画どおりに事業を進める	評価理由	改善案	必要最小限で実施
			B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	学校教育の円滑な実施には必要な事業であり、実施方法、コスト等を考慮して実施する。	改善案	必要最小限で実施

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	経費の削減に努めながら実施されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
学校教育課運営上の必要経費であり、円滑に実施する。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	032008	事務事業名	適応指導教室事業	担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 不登校対策の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・学校と家庭、関係機関との密接な連携を通して、不登校の未然防止に取り組みます。 ・適応指導教室や学習支援員の派遣などの不登校対策事業を通して、児童生徒の学校復帰に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の不登校の児童・生徒	意図(どういう状態にしたい): 不登校及び不登校傾向にある児童生徒の状態の改善、学校への復帰が図られる。	事業の内容(手段)	●不登校及び不登校傾向にある児童生徒に、心理的重圧の少ない安らぎの場(適応指導教室)を設け、そこでの諸活動・野外活動などにより生活の意欲化を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	くすのきラウンジ 12人 あすなる熊毛 4人の通室						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】		直接事業費	千円	9,716	10,655		10,668	36,416	11,127				
			(予算額)	うち一財	千円	9,716	10,655	10,652	13,716	11,127				
事業目標	目標名	好転率	計算式	好転率	単位	%	直接事業費	千円	9,204	10,052	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	9,204	10,052	2か所で実施している適応指導教室を旧楠木幼稚園に統合する整備費		
	目標値	50.0	50.0	50.0	70.0	70.0	正職員人件費	千円	952	1,849	整備費の減			
	実績値	89.0	75.0	73.0			人工数	人	0.13	0.25	0.05			
	達成度(%)	178.0%	150.0%	146.0%			支出コスト	千円	決) 10,156	決見) 11,901				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否			
	事業の分類							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	くすのきラウンジ (ソフト事業)	市内の不登校の児童・生徒(主に徳山、新南陽地区の児童・生徒)	不登校の児童・生徒を学校へ復帰させる	適応指導教室へ通室する児童・生徒の好転率(学校への復帰)を上げる	不登校の児童生徒をくすのきラウンジで12人受け入れ、その内8人が学校へ登校することができた。	0.15	4	8,042	否	可			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題	施設の老朽化、保護者・教師用の駐車場が無いこと				B	改善案	新しい移転先を探す。						
②	あすなる熊毛 (ソフト事業)	市内の不登校の児童・生徒(主に熊毛地区の児童・生徒)	不登校の児童・生徒を学校へ復帰させる	適応指導教室へ通室する児童・生徒の好転率(学校への復帰)を上げる	不登校の児童生徒をあすなる熊毛で4人受け入れ、その内3人が学校へ登校することができた。	0.1	1	2,010	否	可				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	細事業の課題	施設の老朽化				B	改善案	くすのきラウンジとの統合を視野に今後の方針を決める。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題						改善案					
	④											
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	周南市の不登校の児童生徒は平成21年度までは100人を超えていたが、平成23年度以降は80人で推移している。	前年度までの指摘事項	事業については継続するが、くすのきラウンジとあすなる熊毛の統合、楠木幼稚園跡地への移転に向けて検討準備をされたい。	指摘事項に対する改善状況	くすのきラウンジとあすなる熊毛の統合、楠木幼稚園跡地への移転については、継続して協議検討する。
	細事業の課題・問題点	くすのきラウンジにおいては、保護者・教師用の駐車場の確保が望まれる。		事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	くすのきラウンジとあすなる熊毛の統合、楠木幼稚園跡地への移転については、継続して協議検討する。	改善案	
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	現在2か所で開催している適応指導教室を旧楠木幼稚園に統合し、周南市教育支援センターとして充実することで通級者への対応のみならず、不登校傾向のある児童生徒の家庭への訪問相談を実施する体制づくりに取り組まれたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100102
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(2)不登校対策の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
現在2か所で開催している適応指導教室を旧楠木幼稚園に統合し、学習環境の改善や相談体制等を拡充して、周南市教育支援センターとしての機能充実に努める。	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者 (課長)	松野木 豊	評価責任者 (部長)	松村 悟				
事務事業コード	032014	事務事業名	充実した学校生活サポート事業	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 特色ある教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・ふるさとから学ぶ教育活動を通して、ふるさとを愛する心の育成に取り組みます。 ・地域と連携して豊かな体験活動を実施したり、環境問題や国際化・情報化に対応する能力を育てるなど、特色ある教育の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【幼児教育や義務教育】	51.10%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の小中学校	意図(どういう状態にしたい): 児童生徒がより充実した学校生活を送れる。	事業の内容 (手段)	●生徒指導対策の強化、情操教育の推進、特色ある学校づくりに係る支援等を進めていくことで、児童生徒がより充実した学校生活を送れるようサポートしていく。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	①生徒指導対策事業費交付金(周南市生徒指導連絡協議会) ②生徒会リーダー研修会活動費交付金(周南市中学校生徒会リーダー研修会) ③充実した学校生活サポート事業費交付金 (周南市充実した学校生活サポート事業推進協議会:設置要綱あり) を交付し、各々の支出先で事業を実施(細事業参照)した。							直接事業費	千円	4,853	4,673	4,613	6,594	6,594			
事業目標	目標名	学校栄光賞の文化・芸術の部の受賞者数	計算式	受賞人数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	4,853	4,268	4,213	5,594	5,594				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,645	4,636		対27年度増減理由	対28年度増減理由				
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額) うち一財	千円	4,645	4,231		地域資源を積極的に活用した学習機会に係る経費の増額					
	実績値	65.0	60.0	116.0			正職員人件費	千円	1,612	1,627							
	達成度(%)	65.0%	60.0%	116.0%			人工数	人	0.22	0.22	0.05						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	生徒指導対策事業費交付金 (ソフト事業)	生徒指導連絡協議会	生徒指導上の諸問題への早期発見・対応、家庭・関係機関との連携、小・中学校における緊急対応の支援。	問題行動の抑制を目的とし、生活指導に関する研修や緊急対応の充実を図る。	生徒指導に関する講習会等を開催し、担当者の能力向上を行った。家庭と関係機関との連携や児童生徒に応じた積極的な生徒指導を行った。	0.01		1,263	否	否						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価														
②	生徒会リーダー研修会活動費交付金 (ソフト事業)	生徒会リーダー研修会	生徒会役員としての自覚と意欲の高揚を図り、リーダーとして求められる企画力や実践力を高める。	生徒会役員としての自覚と意欲の高揚を図り、リーダーとして求められる企画力や実践力を高める。	研修会を行い、リーダーとしての心構えを学ぶとともに、企画力・実践力を養った。	0.01		320	否	否							
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価															
細事業の課題		なし															
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		A 改善案															

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③	充実した学校生活サポート 事業費交付金 (ソフト事業)					周南市内の小中学校	個性を生かした柔軟で創意ある教育活動を通じ、児童生徒の生きる力を育む。	小・中学校46校に学校基本割3.5万円と児童・生徒数で算定した交付金を交付し各学校で独自の教育活動を行った。	正職員	臨時等	直接事業費
			0.2		3,053	否				否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題	なし				A	改善案					
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし	前年度までの指摘事項	各校の取り組みの成果を確認し、各校へのバラマキとにならないよう効率的な執行に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	成果については、実績報告で確認し、適正に実施していく。
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点			

所管課評価

評価	B	A	計画どおりに事業を進めた	評価理由	改善案	実施方法、コストについて見直しをしながら実施する。
		B	実施方法やコスト等の見直しが必要	「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図るためには、必要な事業である。		
		C	事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要			
		D	休止・廃止の検討			

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	各校が特色ある取り組みの成果を常に確認し、充実した学校生活のサポートがよりよいものとなるよう助言・指導されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100103
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(3)特色ある教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
地域資源(美術博物館、地元企業や水素学習室等)を積極的に活用した学習機会に係る経費を増額し、郷土に誇りと愛着を持つ教育を推進する。	

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071007	事務事業名	英語教育推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 特色ある教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・ふるさとから学ぶ教育活動を通して、ふるさとを愛する心の育成に取り組みます。 ・地域と連携して豊かな体験活動を実施したり、環境問題や国際化・情報化に対応する能力を育てるなど、特色ある教育の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
				【幼児教育や義務教育】	51.10%	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の小・中学校の児童生徒	意図(どういう状態にしたい): 英語教育及び外国語活動、国際理解教育の推進・向上が図られる。	事業の内容(手段)	●小・中学校へ英語指導助手を配置し、英語教育及び外国語活動、国際理解教育の推進・向上を図る。 ●夏季休業中のスピーチコンテスト指導、教職員対象の英会話指導等を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	中学校16校、小学校30校を8名の英語指導助手で巡回訪問し、英語教育および英語クラブ活動、英会話学習等を通じ、語学教育、国際理解教育の推進を図った。また、長期休業期間中のスピーチコンテスト指導、教職員対象の英会話指導等も実施した。							直接事業費	千円	34,483	35,259	38,890	38,913	38,913
事業目標	目標名	AETの人数	計算式	配置人数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	34,483	35,259	38,890	38,913	38,913
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	34,303	35,055	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	(決算額)	うち一財	千円	34,303	35,055			
	実績値	8.0	8.0	8.0			正職員人件費	千円	733	740				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.03			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事務対象		事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	英語教育推進事業(ソフト事業)	市内の小・中学生	英語教育及び外国語活動、国際理解教育の推進・向上を図る。	国際化に対応する能力を育てる。	小・中学校へ英語指導助手を配置し、英語教育及び外国語活動、国際理解教育の推進・向上を図った。	正職員	臨時等	35,055	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 26年度は、市嘱託2名、業務委託6名を配置していたが、27年度以降は、市嘱託1名、業務委託7名を配置することとした。また、26年11月に、27～29年度の業務委託業者をプロポーザルにより決定(㈱インタラック広島支店)した。				A	改善案							
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価									
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	23年度から小学校5, 6年生から学習指導要領で外国語教育に取り組むことになった。	前年度までの指摘事項	英語指導助手については、極力委託によるものとし、事務の効率化を図られたい。	指摘事項に対する改善状況	現在の直接雇用のAETは、突発的な事態に対応するのに有効であること、夏休み期間中のスピーチコンテスト指導等に活用できるため、自然減となるまでは直接雇用は最低1名は残しておきたい。
	細事業の課題・問題点	26年度は、市嘱託2名、業務委託6名を配置していたが、27年度以降は、市嘱託1名、業務委託7名を配置することとした。また、26年11月に、27～29年度の業務委託業者をプロポーザルにより決定(㈱インタラック広島支店)した。	事業全体の課題・問題点			

所管課評価

評価	A	評価理由	周南市英語教育のよりよい発展に向けて本事業を継続していくことは意義があることである。	改善案	
		A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討			

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	プロポーザルにより契約した新たな事業者の持つ能力を十分に活用し、より充実した英語教育の展開を主体的に図られたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100103
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(3)特色ある教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き、英語教育及び外国語活動、国際理解教育の推進・向上を図る。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071019	事務事業名	教職員研修推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の完全実施に向けて、改訂の主旨の理解と円滑な移行について取り組みます。 ・基礎や基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進し、自ら学び活動できる子どもの育成に努めます。 ・命を大切に、他人を思いやる心を育てる「共に生きる教育」の推進を図るなど、「生きる力」を育む教育の充実を図ります。 			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立小中学校、教職員	意図(どういう状態にしたい): 教職員の資質向上により学校が安定し、児童生徒の学力も向上する。	事業の内容(手段) <ul style="list-style-type: none"> ●周南市立小・中学校教職員により構成される団体の研修活動や協議活動への補助を行う。 ●教育研究センターの運営及び若手教職員の研修を行う。 			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	教育研究センター 周南地区小規模校教育振興会、周南市小学校校長会、周南市中学校校長会、周南市公立学校教頭会、周南市小学校研修会、周南市中学校研修会、周南市養護教員研修会、周南市教育調査研究会						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】								直接事業費	千円	5,237	6,463	6,318	6,489
								(予算額) うち一財	千円	5,237	6,463	6,318	6,489	6,489
事業目標	目標名	研修参加率	計算式	参加学校数/全体学校数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	4,808	6,155		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	4,808	6,155			
	目標値	46.0	46.0	46.0	43.0	43.0		正職員人件費	千円	1,538	1,553			
	実績値	46.0	46.0	46.0				人工数	人	0.21	0.21	0.06		
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				支出コスト	千円	決) 6,346	決見) 7,708			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	教育研究センター (ソフト事業)	周南市立小中学校、教職員	キャリアステージに応じた教職員研修の充実を図る。	教職員の資質向上により学校が安定し、児童生徒の学力も向上する。	採用から5年までの教員に、道徳教育、授業づくり、いじめ・不登校・教育相談、生徒指導、接遇等12回の研修を行った。	0.1	2	3,818	否	可			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他												細事業評価	
	細事業の課題	なし										A	改善案	
②	小規模校教育関係 (ソフト事業)	周南地区小規模校教育振興会、山口県へき地教育振興会	へき地教育の充実を図る。	へき地教育の問題点について研究協議し、教育の充実を図る。	へき地教育の問題点について研究協議し、実践等をはかり、教育の充実を図った。	0.01		117	否	否				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他												細事業評価		
細事業の課題	なし										A	改善案		

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	正職員	臨時等					直接事業費	委託	臨時			
③	小・中学校校長会活動費補助金	小学校校長会・中学校校長会	小学校校長会・中学校校長会	学校運営の円滑化と教育の活性化を図る。	学校運営の諸般にわたっての研修、連絡協議を行う。学校運営の円滑化と教育の活性化を図る。	学校運営の諸般にわたっての研修、連絡協議を行い、学校運営の円滑化と教育の活性化を図った。	0.01		400	否	否	
	(ソフト事業)											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	なし						A	改善案				
④	公立学校教頭会活動費補助金	周南市立公立学校教頭会	周南市立公立学校教頭会	教頭の資質向上と学校教育の活性化を図る。	教頭会の運営費、教頭の資質向上と学校教育の活性化を図る。	教頭会を運営し、教頭の資質向上と学校教育の活性化を図った。	0.01		405	否	否	
	(ソフト事業)											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	なし						A	改善案				
⑤	小・中学校研修会活動費補助金	周南市小・中学校研修会	周南市小・中学校研修会	教職員の研修や協議活動を推進し、教育活動の深化、改善、向上を図る。	教職員の資質向上により学校が安定し、児童生徒の学力も向上する。	教職員の研修や協議活動を推進し、教育活動の深化、改善、向上を図った。	0.01		828	否	否	
	(ソフト事業)											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	なし						A	改善案				
⑥	養護教員研修会活動費補助金	周南市養護教員会研修会	周南市養護教員会研修会	養護教員の研修や協議活動を推進し、学校保健の深化、改善、向上を図る。	児童生徒、教職員の健康管理、教育環境の改善、向上を図る。	養護教員の研修や協議活動を推進し、学校保健の深化、改善、向上を図る。	0.01		45	否	否	
	(ソフト事業)											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	なし						A	改善案				
⑦	教育調査研究会活動費交付金	周南市立小中学校、教職員	周南市立小・中学校教職員	周南市立小・中学校教職員により構成される団体の研修活動や協議活動への補助を行う。	教職員の資質向上により学校が安定し、児童生徒の学力も向上する。	特別支援教育、社会科副読本、コンピューター教育、進路指導に関する研究を行った。	0.06		542	否	否	
	(ソフト事業)											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	なし						A	改善案				
⑧												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
								改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	信頼と期待にこたえ、夢をかなえる学校づくりに向けて本研修推進事業をもとに各学校の研修への取り組みが活性化されてきた。学習指導要領改訂に伴い効果的な授業改善、学習評価に対する研究が重視される。	前年度までの指摘事項	事業内容を精査し、補助金の整理と補助内容と補助金額の検討を行われない。	指摘事項に対する改善状況	教育研究会活動費交付金の見直しを行った。教職員の資質向上のために教育研究センターの運営を拡充した。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	補助金の精査に努めながら実施する。	改善案	
----	---	--	------	-------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	それぞれの事業対象ごとに見直しを検討することには限界があるので、教育研究センターの充実も考慮して学校教育課が主導して、より効果が上がるよう補助金を見直されたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
今後も、国・県の研修システムを活用しながら、教職員のキャリアステージに応じた研修の充実を図っていく。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟				
事務事業コード	071021	事務事業名	学校文化体育関係事業	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・新学習指導要領の完全実施に向けて、改訂の主旨の理解と円滑な移行について取り組みます。 ・基礎や基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進し、自ら学び活動できる子どもの育成に努めます。 ・命を大切に、他人を思いやる心を育てる「共に生きる教育」の推進を図るなど、「生きる力」を育む教育の充実に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立の小中学校生	意図(どういう状態にしたい): 児童生徒の一人ひとりの特性、能力を伸ばし、「確かな学力」や「生きる力」を育むことができる。	事業の内容(手段)	●小・中学校体育連盟の活動への補助、文化連盟の活動への補助、音楽祭・美術展・科学展の開催費の補助、読書感想文(画)の審査会開催の補助等を行う。 ●英語暗唱大会における浅田榮次賞の授与を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	浅田榮次賞、小学校体育連盟活動費補助、中学校文化連盟活動費補助、小中学校文化体育部中国・全国大会出場補助等						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	13,433	13,163	14,263	14,181	14,181
事業目標	目標名	中国・全国大会出場数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	13,433	13,163	14,263	14,181	14,181
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	13,713	12,506	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0		(決算額) うち一財	千円	13,713	12,506			
	実績値	25.0	36.0	23.0				正職員人件費	千円	659	666			
	達成度(%)	73.5%	105.9%	67.6%				人工数	人	0.09	0.09	0.10		
								支出コスト	千円	決) 14,372	決見) 13,172			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	① 浅田榮次賞 (ソフト事業)		山口県英語暗唱・弁論大会の上位入賞者	英語教育の向上を図る。	浅田榮次氏の功績を称えらるとともに、英語教育の向上を図る。	山口県英語暗唱・弁論大会の上位入賞者に浅田榮次賞を授与した。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題		なし		A	改善案								
② 小・中学校体育連盟活動費補助金 (ソフト事業)		周南市小・中学校体育連盟	児童生徒の体育運動を振興し、体力の向上、健全な心身の発達を図る。	児童生徒の体育運動を振興し、体力の向上、健全な心身の発達を図る。	連盟主催行事における児童生徒の輸送等を行った。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
細事業の課題		なし		A	改善案									

	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	中学校文化連盟活動費補助金 (ソフト事業)	周南市中学校文化連盟	文化・生産活動の推進と向上を図り、生徒の健全な趣味や豊かな心を育て、中学校教育の充実を図る。	文化・生産活動の推進と向上を図り、生徒の健全な趣味や豊かな心を育て、中学校教育の充実を図る。	中学校芸術鑑賞会、文化発表会等の開催や各種コンクールや作品展等への参加 山口県中学校総合文化祭への参加	0.01		810	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価						
						A	改善案					
	④	小中学校文化体育部中国・全国大会出場補助金 (ソフト事業)	周南市小・中学校文化・体育連盟	文化・体育活動で中国・全国大会へ出場した児童生徒に対しその経費を補助する。	全国大会及び中国大会出場への奨励により、心身ともに健全な児童生徒の育成を図る。	体育部全国大会3校5回、中国大会9校15回 文化部中国大会2校3回 出場し補助をおこなった。	0.01		1,382	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価						
						A	改善案					
	⑤	小・中学校音楽祭開催費交付金 (ソフト事業)	周南市小・中学校音楽祭実行委員会	児童生徒の音楽文化の基礎を養う。	児童生徒が音楽祭に参加することにより、音楽的能力の伸長と豊かな人間性を高める。	周南市全小中学校参加による音楽祭を文化会館で開催し、児童生徒の輸送等を行った。	0.01		2,022	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価						
						A	改善案					
⑥	小中学校美術展開催費交付金 (ソフト事業)	周南市小中学校美術展開催委員会	造形教育の推進により、感性豊かな児童生徒の育成と美術教育の振興を図る。	造形教育の推進により、感性豊かな児童生徒の育成と美術教育の振興を図る。	造形作品を展覧し、造形教育を推進することにより、感性豊かな児童生徒の育成と美術教育の振興を図る。	0.01		399	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価							
					A	改善案						
⑦	小中学校科学展開催費交付金 (ソフト事業)	サイエンス周南2014実行委員会	児童生徒の科学に対する関心を高め、理科教育の深化充実を図る。	優れた科学的研究物や作品を公開し、広く科学に対する関心と研究意欲を高め、理科教育の深化充実を図る。	優れた科学的研究物や作品を公開し、広く科学に対する関心と研究意欲を高め、理科教育の深化充実を図る。	0.01		230	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価							
					A	改善案						
⑧	小中学校読書感想文(画)コンクール開催費交付金 (ソフト事業)	周南市小中学校感想文・画コンクール実行委員会	児童生徒の読書活動を推進する。	読書感想文(画)コンクールの実施により、児童生徒の読書活動を推進するとともに、読書感想文(画)の作品の向上を目指す。	読書感想文(画)コンクールを実施し、児童生徒の読書活動を推進し、読書感想文(画)の作品の向上を目指した。	0.01		84	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価							
					A	改善案						

事業を構成する細事業【26年度実績】	⑨	中国中学校バスケットボール選手権大会開催費補助(ソフト事業)	中国中学校バスケットボール選手権大会実行委員会	第44回中国中学校バスケットボール選手権を周南市で開催するにあたり運営費等を補助する。	バスケットボール競技の実践を通して、技能の向上とアマチュア精神の高揚を図り、心身ともに健全な生徒の育成を図る。	バスケットボール競技の実践を通して、市のスポーツ振興に寄与した。	0.01		100	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 中国大会開催地による臨時的経費				細事業評価					
						A	改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子化の影響で児童生徒数は減少傾向にあるが、本事業の有効性には変わりはない。	前年度までの指摘事項	補助事業の内容及び効果を精査し、必要性の検討を行うとともに、補助額についても検討されたい。	指摘事項に対する改善状況	必要のない事業については廃止した。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	実施方法、コストについては引き続き検証しながら実施する。	改善案	補助金、交付金の内容を精査しつつも、大会開催における輸送費等の補助についてはバス賃の改正に伴う補助額とした。
----	---	--	------	------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	補助事業の効果、必要性、手法について検証を行い、より効果的な事業目的の達成に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
本市での開催に係る運営補助金分を減額した。バス運賃改正に伴い大会開催における輸送費補助を増額した。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071025	事務事業名	学級支援補助教員活用事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(6) 特別支援教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・特別に支援の必要な幼児及び児童生徒のために障害児補助及び生活指導員・介助員を配置し、発達障害児等に係わる支援教育を充実します。			25年度市民評価の満足度	
		【幼児教育や義務教育】	51.10%			
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立小学校	意図(どういう状態にしたい): 特別な配慮を要する児童への個別指導を行うことで該当児童は意欲を高め集中力を保って学習することが可能となる。	事業の内容(手段)	●特別な配慮を要する児童への支援に留意しながら、きめ細かな指導体制を充実し、学級運営の安定化を図るため、小学校1.2学年、3.4学年及び5.6学年の学級への補助として必要に応じ小学校教員免許状を有する補助教員を配置する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	岐山小・榑浜小に各1名配置し、特別な配慮を要する児童の多い学年で、個別指導にあたった。補助教員の配置により、学級運営の安定化を図った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	2,298	2,298	1,183	1,183		1,183							
事業目標	目標名	配置人数	計算式	配置人数/必要人数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,149	1,149	592	592	592	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,226	2,234	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	(決算額)	うち一財	千円	1,113	1,117				
	実績値	2.0	2.0	2.0			正職員人件費	千円	733	813					
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.10	0.11	0.07				
							支出コスト	千円	決) 2,959	決見) 3,047					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	学級支援補助教員活用事業 (ソフト事業)	市内の小・中学校	特別な配慮を要する児童への支援に留意し、きめ細やかな指導体制を充実し、学級運営の安定化を図る。	特別な配慮を要する児童への指導体制の充実のため、学級への補助として必要に応じ小学校教員免許を有する補助教員を配置する。	岐山小・榑浜小に、小学校教員免許を有する補助教員を配置し、学級運営の安定化を図った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
	②						A	改善案							
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否			
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	細事業の課題							改善案					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	学校、地域の発達障害の理解が進み、今まで特別な支援を受けられなかった児童に対し、個別の支援により教育的成果があがる事が検証されてきている。	前年度までの指摘事項	事業の充実が求められる中で、配置数は希望数と懸け離れている。今後も県に強く要望されたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	特別な配慮を要する児童への支援に留意しながら、きめ細やかな指導体制を充実し、学級運営の安定化を図るために必要である。	改善案	
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	特別な配慮を要する児童の支援のあり方について、周南市として、学級支援補助教員の配置、生活指導員の配置、介助員の配置、それぞれの効果性を確認しつつ、何がどれだけ必要かを判断することが重要と考える。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100105
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(5)特別支援教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き、特別な配慮を要する児童の支援に努める。	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071032	事務事業名	学校図書館活用推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(5) 小・中学校図書館の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・学校図書館図書標準に定められた蔵書数の確保と充実に努めます。 ・学校図書館司書の配置を拡充し、読書活動の推進と学習支援の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【幼児教育や義務教育】	51.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小・中学校図書館の充実	意図(どういう状態にしたい): 読書活動の推進と学習支援の充実が図られる。	事業の内容(手段)	●司書資格を有する経験豊富な図書館司書を小学校6校、中学校2校に配置する。(学校図書館司書) ●学校図書館指導員を小学校6学級以上、中学校3学級以上の学校で学校図書館司書を配置していない学校に週2日程度配置する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	学校図書館司書を8校、小学校6クラス以上中学校3クラス以上の28校に学校図書館指導員を週2回配置した。 未配置の10校については学校図書館指導員が巡回した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	※25年度までの目標名 学校図書館司書の配置人数						直接事業費	千円	20,752	20,824	23,456	23,989	23,989
事業目標	目標名	一人当たりの年間貸出し冊数	計算式	実績	単位	冊	事業費	(予算額) うち一財	千円	20,752	20,824	23,456	23,989	23,989
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	20,402	20,524		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	8.0	8.0	(小) 22 (中) 8	(小) 22 (中) 8			(決算額) うち一財	千円	20,402	20,524			
	実績値	8.0	8.0	(小) 18 (中) 5				正職員人件費	千円	2,564	2,588			
	達成度(%)	100.0%	100.0%					人工数	人	0.35	0.35	0.16		
								支出コスト	千円	決) 22,966	決見) 23,112			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託		
	①	学校図書館活用推進事業 (ソフト事業)	市内の小・中学校	学校図書館司書及び指導員を配置し、学校図書館を充実させ、読書活動の推進と学習支援の充実を図る。	学校図書館司書及び指導員を配置し、学校図書館を充実させ、読書活動の推進と学習支援の充実を図る。	学校図書館司書8人を配置、学校図書館指導員15人の配置及び巡回により読書活動の推進と学習支援の充実を図った。	0.35	24	20,524		否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
	②						A	改善案						
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成24年度から、学校図書館担当職員の配置について地方財政措置がされるようになった。 平成26年の学校図書館法の改正により学校司書が法制化された。	前年度までの指摘事項	学校図書館司書の配置や、学校図書館指導員の活用についての検討とともに、市立図書館との連携により、効果的な事業運営を行われた。	指摘事項に対する改善状況	学校図書館司書及び学校図書館指導員を前年度比各1名ずつ増員した。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	重点施策であり、必要性・有効性がともに高い事業である。	改善案	学校図書館司書及び学校図書館指導員を前年度比各1名ずつ増員した。また、学校図書館指導員の掛け持ち方法を工夫し全ての小・中学校に配置できるようにするとともに、学校図書館司書の配置転換をすることにより全体のレベルアップを図る。
----	---	--	------	-----------------------------	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	平成26年度に学校司書が法制化され、平成27年度は、学校図書館司書9人、学校図書館指導員16人の体制で全市的に学校図書館の充実に取り組まれた。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100104
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(4)小・中学校図書館の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
学校図書館司書及び学校図書館指導員の適正配置及び研修の充実により、児童生徒の読書活動の促進を図る。	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071034	事務事業名	生活指導推進事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(6) 特別支援教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・特別に支援の必要な幼児及び児童生徒のために障害児補助及び生活指導員・介助員を配置し、発達障害児等に係わる支援教育を充実します。			25年度市民評価の満足度	
		【幼児教育や義務教育】	51.10%			
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 特別な支援や介助を必要とする児童生徒	意図(どういう状態にしたい): 特別な支援や介助を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導、支援が可能になる。	事業の内容(手段)	●(介助員)基本的な生活動作の支援が必要な児童生徒に、1対1で補助員を配置する。 ●(生活指導員)特別支援学級や、特別な配慮を要する児童生徒が複数在籍する学級へ補助員を配置する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【事業の内容】介助員(基本的な生活動作の支援が必要な児童生徒に1対1で配置)・生活指導員(特別支援学級や配慮を要する児童生徒が在籍する通常学級の担任の補助として、該当児童生徒が複数在籍する学級へ配置)の雇用事務 【活動内容】①担任の補助 ②校外活動の引率 ③児童生徒への生活指導								直接事業費	千円	48,676	54,205	58,760	62,378
事業目標	目標名	介助員・生活指導員の必要な配置率		計算式	介助員・生活指導員の必要な配置率	単位	%	(予算額) うち一財	千円	48,676	54,205	58,760	62,378	62,378
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	51,961	55,268		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		(決算額) うち一財	千円	51,961	55,268		賃金単価の改定	
	実績値	100.0	100.0	100.0				正職員人件費	千円	1,465	1,479			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.20	0.20	0.17		
								支出コスト	千円	決) 53,426	決見) 56,747			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	生活指導推進事業 (ソフト事業)	特別な配慮や介助を要する児童生徒	特別な配慮や介助を要する児童生徒の支援をする。	障害があり介助の必要な児童生徒に介助員を配置するとともに、特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級へ生活指導員を配置する。	介助員 小学校7人中学校1人、計8人 生活指導員 小学校35人中学校12人、計47人	0.2	51	55,268	否	可			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				細事業評価							
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化		前年度までの指摘事項	生活指導員の必要な児童生徒数の増加が見られており、今後も必要な人数配置が求められている。	指摘事項に対する改善状況	各学校からの聞き取り調査を実施し、各状況に応じた必要な介助員、生活指導員を配置した。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	必要な事業であり、継続実施する。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 特別な配慮を要する児童生徒の支援のあり方として、生活指導員、介助員の配置は重要と認識している。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100105
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(5)特別支援教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、特別な配慮を要する児童生徒の支援に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071081	事務事業名	大津島ふれ愛スクール事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 不登校対策の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・学校と家庭、関係機関との密接な連携を通して、不登校の未然防止に取り組みます。 ・大津島ふれ愛スクールをはじめ、適応指導教室や学習支援員の派遣などの不登校対策事業を通して、児童生徒の学校復帰に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
				【幼児教育や義務教育】	51.10%	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 不登校の児童生徒	意図(どういう状態にしたい): 一人ひとりの個性や特性に応じた指導の中で、豊かな人間性を培い、明るくのびのびとした教育が実践される。	事業の内容(手段)	●不登校及び不登校傾向にある生徒を大津島中学校に受け入れることにより、小規模校の良さや特色を生かし、一人ひとりの個性や特性に応じた指導の中で、豊かな人間性を培い、明るくのびのびとした教育を実践する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		平成26年度の受け入れ実績 0人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
【26年度】									直接事業費	千円	4,919	653	0	0	0		
									(予算額) うち一財	千円	4,919	653	0	0	0		
事業目標	目標名	好転率	計算式	好転人数/通学人数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	3,572	0	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	3,572	0						
	目標値	50.0	50.0	50.0				正職員人件費	千円	73	74						
	実績値	77.8	66.7					人工数	人	0.01	0.01	0.00					
	達成度(%)	155.6%	133.4%					支出コスト	千円	決) 3,645	決見) 74						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	大津島ふれ愛スクール事業 (ソフト事業)	周南市立の小・中学校に通う不登校の児童生徒		不登校の児童生徒の学校復帰に取り組む		不登校の児童生徒の学校復帰に取り組む		受け入れ実績0人					0			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし						細事業評価									
	②																
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価										

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	適応指導教室や不登校総合対策事業に取り組んできた成果として、全体で不登校の人数は減少傾向となっている。 母体となる大津島小学校、中学校の児童生徒の減少。	前年度までの指摘事項	本年度は受け入れ生徒がおらず、来年度は母体となる学校が休校となる状況の中で事業継続はできない。改善案のとおり、適応指導教室での対応とされたい。 事業としては、不登校対策のみならず地域振興など大変意義深いものがあるが、大津島における学校運営継続が困難という状況から廃止はやむを得ない。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	D	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	廃止する。	改善案	適応指導教室やスクールソーシャルワーカー等との連携で対応する。
----	---	--	------	-------	-----	---------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	D	不登校児童生徒の減少に成果を上げたが、大津島小学校、中学校の児童生徒の減少のため、事業を廃止する。今後は、教育支援センターの充実により、不登校対策に取り組まれない。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	
分野	#N/A
基本施策	#N/A
推進施策	#N/A

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071085	事務事業名	コミュニティ・スクール事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	○
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4) 特色ある教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・ふるさとから学ぶ教育活動を通して、ふるさとを愛する心の育成に取り組みます。 ・地域と連携して豊かな体験活動を実施したり、環境問題や国際化・情報化に対応する能力を育てるなど、特色ある教育の充実を図ります。			25年度市民評価の満足度	
				【幼児教育や義務教育】	51.10%	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立の小・中学校	意図(どういう状態にしたい): 学校の良さの更なる伸長と課題解決に保護者・地域が協働実践する地域づくり、学校づくりが可能となる。	事業の内容(手段)	●周南市立小・中学校に学校運営協議会を設置する。地域の学習拠点としての学校の役割を發揮し、地域教育力の活用と学校の教育機能の提供を行いながら、学校のよさの更なる伸長と課題解決に保護者・地域が協働実践する地域づくり、学校づくりを行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	小中合同学校運営協議会、小中合同行事を積極的に行った。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	※25年度までの目標名 学校運営協議会の開催回数							直接事業費	千円	2,395	2,300	5,300	4,250	4,250		
事業目標	目標名	小中合同学校運営協議会の開催回数			計算式	平均開催数	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	2,395	2,300	2,300	2,250	2,250
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		2,250	2,200	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	(決算額) うち一財	千円		2,250	2,200	やまぐち型地域連携教育推進事業委託金の減額に伴う事業費の見直し				
	実績値	4.0	4.0	1.5			正職員人件費	千円		366	370					
	達成度(%)	100.0%	100.0%	37.5%			人工数	人		0.05	0.05	0.04				
						支出コスト	千円	決) 2,616	決見) 2,570							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	コミュニティ・スクール事業 (ソフト事業)	周南市立の小・中学校	学校の良さの更なる伸長と課題解決に保護者・地域が協働実践する地域づくり、学校づくりを行う。	周南市立小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域の学習拠点としての学校の役割を發揮し、地域教育力の活用と学校の教育機能の提供を行う。	周南市市立小・中学校46校に学校運営協議会を設置し、保護者・地域と協働実践する地域づくり、学校づくりを行った。	0.05		2,200	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価					
	②						A	改善案				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
							改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題						改善案					
	④											
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	なし	前年度までの指摘事項	平成26年度の周南市の教育の重点事業に位置付けており、今後も積極的な事業展開を図りたい。	指摘事項に対する改善状況	山口県の補助事業を活用し、各学校を巡回指導する山口CSコンダクターを新たに配置した。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	周南市の教育の重点事業である。	改善案	
----	---	--	------	-----------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	市内31地区にコミュニティ推進組織を持つ本市でコミュニティ・スクール事業を展開する意義は大きい。学校支援機能の充実に加え、学校運営協議会における話し合い機能の発揮に期待する。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100106
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(6)コミュニティ・スクールの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
やまぐち型地域連携教育推進事業委託金の減額に伴い関連する事業内容を精査した。引き続き、地域の方々や保護者に対して様々な機会を通じて事業の趣旨について周知を図り、活動の充実に努める。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	071094	事務事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業	担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	補助	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の完全実施に向けて、改訂の主旨の理解と円滑な移行について取り組みます。 ・基礎や基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進し、自ら学び活動できる子どもの育成に努めます。 ・命を大切に、他人を思いやる心を育てる「共に生きる教育」の推進を図るなど、「生きる力」を育む教育の充実にも努めます。 			25年度市民評価の満足度	
					【幼児教育や義務教育】	51.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立の小・中学校	意図(どういう状態にしたい): いじめや不登校等に対する専門相談体制の充実を図り、学校教育の充実につなげる。	事業の内容(手段)	●課題のある家庭への迅速かつ適切な支援に資するため、地域スクールソーシャルワーカーを配置し、専門相談等を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	児童生徒の問題行動等の課題に対応するためにスクールソーシャルワーカーによる専門相談を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	※25年度の目標名 支援率						直接事業費	千円	1,003	1,003	1,003	1,003	1,003
事業目標	目標名	改善率	計算式	改善事例数/派遣数	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	335	335	335	335	335
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	996	1,412			
	目標値	事業なし	80.0	80.0	80.0	80.0		(決算額) うち一財	千円	333	471			
	実績値		62.5	80.8				正職員人件費	千円	73	74			
	達成度(%)		78.1%	101.0%				人工数	人	0.01	0.01	0.20		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託		
	①	スクールソーシャルワーカー配置事業 (ソフト事業)	周南市立の小中学校に通学する児童生徒で、課題のある家庭の児童生徒	課題のある家庭への迅速かつ適切な支援に資するため、地域スクールソーシャルワーカーを配置し専門相談等を行う。	課題のある家庭への迅速かつ適切な支援に資するため、地域スクールソーシャルワーカーを配置し専門相談等を行う。	課題のある家庭へスクールソーシャルワーカーを派遣した。(6人のスクールソーシャルワーカーを延べ312時間派遣)	0.01		1,412		否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他											
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題						改善案					
	④											
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	なし	前年度までの指摘事項	必要な事業である。有効なスクールソーシャルワーカーの配置に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	課題のある家庭の児童生徒は増えており、今後ますます必要となる事業である。	改善案	
----	---	--	------	--------------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	いじめ、不登校など児童生徒の問題行動の背景となる要因は様々であるが、スクールソーシャルワーカーの派遣を通して、児童生徒の理解を広げることで学校教育の充実へとつなげられたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100101
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(1)学校教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
児童生徒の問題行動に対して、事案等に応じたスクールソーシャルワーカーの活用を継続していく。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071096	事務事業名	学校安全体制整備推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 学校教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	・新学習指導要領の完全実施に向けて、改訂の主旨の理解と円滑な移行について取り組みます。 ・基礎や基本の確実な定着と個性を伸ばす教育を推進し、自ら学び活動できる子どもの育成に努めます。 ・命を大切に、他人を思いやる心を育てる「共に生きる教育」の推進を図るなど、「生きる力」を育む教育の充実にも努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【幼児教育や義務教育】	51.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市内の小・中学校	意図(どういう状態にしたい): 地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安心で安全な学校づくりを支援する。	事業の内容(手段)	防犯の専門家をスクールガードリーダーとして2名雇用し、少年安全サポーターと連携して、小・中学校を訪問指導し、見守り隊等の研修指導を行う。また、小学校新1年生に交通安全の黄色い帽子の配付を行うとともに、学校から要望のあった通学路の電柱に表示看板の取り付けを行う等、総合的に小・中学校及び児童生徒の学校安全に取り組む。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	・防犯の専門家をスクールガードリーダーとして雇用し、小・中学校を訪問指導(防犯訓練、火災訓練、災害訓練等)するとともに、見守り隊等の研修指導を行う。 ・通学路の表示板の作成、設置 ・黄色い帽子の購入、配付 ・平成26年12月に「周南市通学路交通安全プログラム」を策定した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	【26年度】	直接事業費	千円	766	776	781		772	772							
事業目標	目標名	前年度より交通事故数の減	計算式	本年度件数/前年度件数	単位	%	事業費	(予算額)	うち一財	千円	766	776	781	772	772	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	728	751	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0	-50.0		(決算額)	うち一財	千円	728	751				
	実績値	-18.6	14.3	2.5				正職員人件費	千円	2,930	2,958					
	達成度(%)	37.2%	-28.6%	-5.0%				人工数	人	0.40	0.40	0.04				
								支出コスト	千円	決) 3,658	決見) 3,709					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否							
	①	スクールガード・リーダー(ソフト事業)	周南市立の小中学校	小・中学校を訪問指導するとともに、見守り隊等の研修指導を行う。	防犯に資するとともに、事件事故に遭わない体制作りを行う。	防犯の専門家をスクールガードリーダーとして雇用し、小・中学校を訪問指導するとともに、見守り隊等の研修指導を行う。	正職員	0	222	否	可					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 スクールガード・リーダー2名及び少年安全サポーター1名の、計3名で小・中学校を分担し、訪問指導しているが、少年安全サポーターは周南地域全体の業務との兼務であり、十分連携対応できない場合もある。				B	改善案	スクールガード・リーダーを1名増員して、3名体制とすることで、少年安全サポーターとの十分な連携が図れる。								
	②	交通安全啓発業務(施設等整備事業)	周南市立の小中学校の児童、生徒	交通安全啓発用として、標示板を通学路に設置する。小学校新1年生に黄色い帽子を配付する。	交通安全啓発用として、標示板を通学路に設置する。小学校新1年生に黄色い帽子を配付する。	・通学路の表示板の作成、設置 ・黄色い帽子の購入、配付	0.25	0	529	否	可					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし				A	改善案										

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成25年度から、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業と交通安全教育費を統合した。	前年度までの指摘事項	交通安全の啓発を十分に行うとともに、黄色い帽子の配布が有効な手法かどうか検証をされたい。	指摘事項に対する改善状況	黄色い帽子の配布は、交通安全の意識付けとなり、一定の効果は見込まれる。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	必要な事業であるため、計画通り進めるが、スクールガード・リーダーの増員も検討する。	改善案	スクール・ガードリーダーの増員は、厳しい財政事情から困難である。少年安全サポーターとの連携を密にするとともに、必要に応じて安心安全サポーターの協力を検討する。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	「周南市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関との連携を強化して、児童生徒が安全に通学できるよう努められたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き、学校及び児童生徒の安全に取り組む。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者 (課長)	松野木 豊	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	071035	事務事業名	小学校運営事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	施設の定期的な安全点検を実施するとともに、修繕・改修を進め、安全な教育環境を整備し、維持・管理します。			25年度市民評価の満足度	【幼児教育や義務教育】 51.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立小学校	意図(どういう状態にしたい): 小学校運営の円滑化が図られる。	事業の内容 (手段)	●小学校管理運営業務等、小学校における維持管理を効果的に推進し、小学校運営の円滑化を図る。 ★2次行革大綱28 「周南市版フィフティ・フィフティ」の推進 (H24～取組変更)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	市立小学校の運営経費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費、燃料費、通信費等)の支払を行った。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
								直接事業費	千円	145,296	159,895	164,721	167,474	177,157			
						(予算額) うち一財	千円	139,675	153,986	158,960	161,691	171,396					
事業目標	目標名	学校運営率	計算式	学校運営数/学校数	単位	%	直接事業費	千円	148,920	159,226	対27年度増減理由		対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	148,920	159,226	社会科副読本印刷(2年毎)		教員パソコン(w7機)の更新				
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	正職員人件費	千円	1,831	1,849							
	実績値	100.0	100.0	100.0			人工数	人	0.25	0.25	0.45						
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 150,751	決見) 161,075							
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否						
	①	小学校運営事業費 (施設等整備事業)	市立小学校	学校の円滑な運営	学校の円滑な運営	各小学校への予算配当、公共料金、物品一括契約等を行い、円滑な小学校運営を行った。		正職員	0.15	臨時等	0.1	直接事業費	159,226	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価										
	②	なし					A	改善案									
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価											
							改善案										

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	原油、円安、電気料の値上げ等で光熱水費が増大している。	前年度までの指摘事項	エコ意識の啓発と、効率的な予算執行の意識付けにより、増加する経費の抑制に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	漏水の早期発見のためのマニュアルを作成し、各学校で実践中(夜間水量のチェック、前月、前年との比較)
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校運営のためには必要な事業であり、維持管理を効果的に推進し事業を進める。	改善案	引き続き、漏水の早期発見を各学校で実践する(夜間水量のチェック、前月、前年との比較)
----	---	---	------	---------------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	効率的な予算執行に努めるとともに、各校に対し、地道な経費削減努力の継続の意識付けを図られたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
社会科副読本(小3・4年)印刷(2年毎)による需用費の増額 学校運営のために必要な事業であり、引き続き効率的な執行に努める。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	073008	事務事業名	小学校備品整備事業	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	施設の定期的な安全点検を実施するとともに、修繕・改修を進め、安全な教育環境を整備し、維持・管理します。			25年度市民評価の満足度	【幼児教育や義務教育】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立小学校	意図(どういう状態にしたい): 管理備品の整備・補充により、小学校が効率的かつ適正に経営され、教育効果の改善向上が図られる。	事業の内容(手段)	●管理備品の整備・補充により、小学校の効率的かつ適正な経営を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	管理備品の整備・補充により、小学校の効率的かつ適正な経営を図る。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】							直接事業費	千円	3,209	3,116	2,000	2,000	2,000	
事業目標	目標名	学校運営率	計算式	学校運営数/学校数	単位	%		(予算額) うち一財	千円	3,209	2,616	2,000	2,000	2,000	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	3,207	3,094	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		(決算額) うち一財	千円	3,207	3,094				
	実績値	100.0	100.0	100.0				正職員人件費	千円	1,831	1,849				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.25	0.25	0.10			
								支出コスト	千円	決) 5,038	決見) 4,943				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否				
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
	①	小学校備品整備事業 (施設管理運営事業)	市立小学校	管理備品の整備、拡充	小学校に必要な備品を整備する。	放送設備、電話機等	0.25		3,094	否	可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	②	なし						A	改善案						
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
			④		細事業評価			改善案			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価				
	細事業の課題						改善案				
	④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価				
	細事業の課題						改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	ストーブ、エアコン、放送設備等が古くなっている学校が多い。修繕よりも買い替えの方が適していることが多い。 (金額面→買い替えの方が安価である。部品がなく修繕不能)	前年度までの指摘事項	優先度に従った計画的な予算執行に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	年度当初に各小学校からの必要調査を行い、優先順位を付け執行している。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校備品の整備・補充により、学校経営の効率的適正な運営が図られる。教育効果の改善向上のためには必要な事業である。	改善案	年度当初に各小学校からの必要調査を行い、優先順位を付け執行している。
----	---	---	------	--	-----	------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	優先度による順位付けを行い、計画的な予算執行に努められたい。
----	---	--------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
老朽化する学校備品の効率的な更新をし、適正な整備・補充を行う。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	071041	事務事業名	小学校教材教具費等事業	担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる		実施計画	○	
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度			
	推進施策	(1)教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】 38.30%			
	推進施策の展開	施設の定期的な安全点検を実施するとともに、修繕・改修を進め、安全な教育環境を整備し、維持・管理します。			25年度市民評価の満足度			
		【幼児教育や義務教育】 51.10%						
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立小学校に通学する児童	意図(どういう状態にしたい): 教育の機会均等と教育水準の維持向上を図られる。	事業の内容(手段)	●視聴覚的情報提示機器の拡充・視聴覚教材及び教材作成機器の充実・学校図書館の充実等教育の機会均等と教育水準の維持向上を図る。				

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
	授業に必要な教材・備品等を各学校で選択して購入。学校図書館の図書を充実させるため、図書費として配当し、各学校で児童に必要な図書を選択し購入。								直接事業費	千円	54,281	57,445	52,521	78,544	104,961			
							(予算額) うち一財	千円	52,581	54,061	51,321	77,344	103,761					
事業目標	目標名	学校運営率	計算式	学校運営数/学校数	単位	%	直接事業費	千円	53,953	56,841	対27年度増減理由			対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	52,753	55,641	新南陽地区以外のPC教室のPCをタブレット端末で更新、モデル校2校で校内無線LANの整備に係る賃借料(7月分)			新南陽地区2校のPC教室のPCをタブレット端末で更新、12校で校内無線LAN整備に係る賃借料(7月分)、H28整備分(12月分)				
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	正職員人件費	千円	733	740	0.10							
	実績値	100.0	100.0	100.0			人工数	人	0.10	0.10								
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 54,686	決見) 57,581								
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	教材教具等事業 (経常的事務事業)	市立小学校		学校の円滑な運営		授業に必要な教材・備品等を手当する		授業に必要な教材・備品等を各学校で選択して購入			0.08		54,441	否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
			なし						A	改善案								
②	理科教育等設備整備事業 (経常的事務事業)	市立小学校		学校の円滑な運営		授業に必要な教材・備品等を手当する		授業に必要な教材・備品等を各学校で選択して購入			0.02		2,400	否	可			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価										
		なし						A	改善案									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度から国の学校図書館整備5カ年計画が策定され図書備品の整備を優先しなければならない。	前年度までの指摘事項	図書購入費については、学校図書館活用推進事業と併せて、計画的かつ効果的な配当に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	学校図書館図書標準を全小学校で達成できるように計画的に予算を配当していく。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校教育法第5条において、学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定のある場合を除いては、その学校の経費を負担するとあり必要な事業であるが、効果的に推進する。	改善案	学校図書館図書標準を全小学校で達成できるように計画的に予算を配当していく。
----	---	---	------	--	-----	---------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	図書購入費については、学校図書館活用推進事業と連携し、学校図書館図書基準を満たすよう計画的かつ効果的な予算配当に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
新南陽地区を除く23校のパソコン教室のパソコンをタブレット端末で更新する。 2校をモデル校に指定し、校内無線LANの整備や授業での有効活用のための研修を実施する。	

備考

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071043	事務事業名	小学校就学援助事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	施設の定期的な安全点検を実施するとともに、修繕・改修を進め、安全な教育環境を整備し、維持・管理します。			25年度市民評価の満足度	
					【幼児教育や義務教育】	51.10%

事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 就学困難と認められる児童の保護者	意図(どういう状態にしたい): 必要な援助を与えることで義務教育の円滑な実施に資することができる。	事業の内容(手段)	●学校教育法第19条の規定に基づき、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、新入学児童学用品費等を援助する。
--------------	--------------------------------	--	-----------	--

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	認定基準を生活保護基準額の1.3倍として実施 (平成25年8月1日に見直された生活扶助基準については、適用していない。)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	全児童数 7,538人のうち、1,786人が対象						直接事業費	千円	112,804	121,201	119,097	117,267	117,267
事業目標	目標名	就学援助率	計算式	該当児童数/5月1日現在全児童数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	112,743	121,109	119,045	117,225	117,225
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	109,013	118,961				
	目標値	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	(決算額)	うち一財	千円	108,929	118,885			
	実績値	24.3	23.4	23.7			正職員人件費	千円	1,465	1,479				
	達成度(%)	99.2%	95.5%	96.7%			人工数	人	0.20	0.20	0.23			
						支出コスト	千円	決) 110,478	決見) 120,440					

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
	①	小学校就学援助事業 (ソフト事業)	就学困難と認められる児童の保護者	就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行う。	就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施に資する。	学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、新入学児童学用品費を援助する。	0.20	0.30	118,961	否	可
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 援助対象者が約25%となっており、基準の見直しが必要となっている。						細事業評価				
②											
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
							改善案	平成25年8月1日に見直された生活扶助基準については、国の『生活保護基準額の見直しによる影響を出不さない』という方針から、市としても、就学援助を受けている世帯の負担を考慮し、今年度は認定基準の見直しは行わなかったが、今後も検討する必要がある。			

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
			④		細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子化の影響で児童数は減少傾向にある中、援助者は増加傾向にあったが、ここ数年はやや減少傾向である。	前年度までの指摘事項	平成26年度は、認定基準の見直しを行わなかったが、他市の状況も勘案しながら、見直しについての検討をお願いしたい。	指摘事項に対する改善状況	平成25年8月1日に見直された生活扶助基準については、国の方針を勘案し、市としても、就学援助を受けている世帯の負担を考慮し、今年度は認定基準の見直しは行わなかったが、今後も検討する必要がある。
	細事業の課題・問題点	援助対象者が約25%となっており、基準の見直しが必要となっている。		事業全体の課題・問題点	援助対象者が約25%となっており、基準の見直しが必要となっている。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	受給者数が全体の約25%となっており、認定基準の見直し、対象費目の検討が必要である。	改善案	平成27年度も認定基準の見直しは行わないが、引き続き認定基準、対象費目の見直しの検討をする。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	平成27年度も認定基準の見直しを行わなかったが、他市の状況も勘案しながら、適正な支援に努められたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
小学校在籍児童数の減少に伴う受給者数の減少を見込み減額とした。平成25年8月に生活保護基準が改正されたことに伴う、就学援助費の認定基準については、平成27年11月に示された国の対応方針を勘案し現状維持とした。	

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071045	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(6) 特別支援教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	特別に支援の必要な幼児及び児童生徒のために障害児補助及び生活指導員・介助員を配置し、発達障害児等に係わる支援教育を充実します。			25年度市民評価の満足度	
		【幼児教育や義務教育】	51.10%			
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 特別支援学級へ就学する援助に必要な児童の保護者	意図(どういう状態にしたい): 小学校の特別支援学級への就学の事情を勘案し、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、特別支援学級の振興に資する。	事業の内容(手段)	●小学校の特別支援学級への就学の事情を勘案し、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、特別支援学級の振興に資することを目的とし、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、職場実習交通費、新入学児童生徒学用品費等を援助する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	特別支援教育児童数 164人 (認定児童数)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	【26年度】							直接事業費	千円	1,763	1,805	2,139	2,478	2,478		
	第2区分(前年の収入額が必要額の2.5倍未満) 55人							(予算額) うち一財	千円	1,280	1,298	1,070	1,247	1,247		
	第3区分(" 2.5倍以上) 2人							直接事業費	千円	1,545	1,922		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	(校外通級児童数:単市補助) 28人							(決算額) うち一財	千円	1,109	1,065					
事業目標	目標名	認定率	計算式	認定児童数/特別支援教育児童数	単位	%	事業費	正職員人件費	千円	733	740					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		人工数	人	0.10	0.10	0.21				
	目標値	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0		支出コスト	千円	決) 2,278	決見) 2,662					
	実績値	31.3	25.5	34.8												
	達成度(%)	89.4%	72.9%	99.4%												
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否					
	①	小学校特別支援教育就学奨励事業(ソフト事業)	特別支援学級へ就学する援助に必要な児童の保護者	特別支援学級への就学の特殊事情を勘案し、保護者の経済的負担を軽減する。	特別支援学級への就学の特殊事情を勘案し、保護者の経済的負担を軽減する。	(認定児童数) 第2区分 55人 第3区分 2人 (校外通級児童数) 28人	正職員	0.10	臨時等	0.00	直接事業費	1,922	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし				細事業評価										
	②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子化の影響で児童数は減少傾向にあるが、本事業の対象者は減少傾向にない。	前年度までの指摘事項	引き続き、事業効果に留意しながら、国の基準により事業実施されたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	必要な事業であるため、引き続き事務効率化を図り実施する。	改善案	
----	---	--	------	------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	引き続き、事業効果に留意しながら、適正な支援に努められたい。
----	---	--------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100105
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(5)特別支援教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成25年8月に生活保護基準が改正されたが、その影響が生じないようこの国の対応方針が示されたため、前年度と同様の扱いとした。	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟				
事務事業コード	071047	事務事業名	小学校児童輸送事業	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(7) 学校再編整備の推進			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	教育環境を充実させ十分な教育効果を得るため、小・中学校の学校再編整備を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【幼児教育や義務教育】	51.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小学校の統合の際、遠距離通学となることで通学補助が必要となった児童、輸送が必要な児童	意図(どういう状態にしたい): 遠距離通学児童の通学費の補助等を行うことで通学の安心安全を確保できる。	事業の内容(手段)	●小学校の統廃合等による遠距離通学児童の通学費の補助等を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		学校の統廃合による遠距離通学児童の通学費の補助を行った。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】								直接事業費	千円	10,751	12,430	13,242	16,152	16,152			
							(予算額)	うち一財	千円	10,751	12,252	12,936	14,826	14,826			
事業目標	目標名	補助実施率	計算式	補助実施率	単位	%	直接事業費	千円	8,033	10,066	対27年度増減理由		対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	7,817	9,748	スクールバス運行委託料の増額及び遠距離通学費補助金の増額					
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	正職員人件費	千円	4,029	4,067							
	実績値	100.0	100.0	100.0			人工数	人	0.55	0.55	0.17						
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 12,062	決見) 14,133							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	遠距離通学補助(ソフト事業)	遠距離通学補助の必要な児童	学校の統廃合による遠距離通学児童の通学費の補助	学校の統廃合による遠距離通学児童の安心、安全な通学の確保	学校の統廃合による遠距離通学児童の安心、安全な通学の確保	津木、譲羽、鼓南、大津島、和田、鹿野地区の遠距離通学の補助を行った。	0.15		5,462	否	否					
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						A	改善案							
	②	通学バス運行費補助(ソフト事業)	防長交通株式会社	和田地区の路線バスを通学に利用するために、バス運行会社に対して運行のための経費補助	通学に必要な路線バスの運行確保	通学に必要な路線バスの運行確保	通学に必要な路線バスの運行を確保した。	0.15		1,574	否	否					
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						A	改善案								

	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	正職員	臨時等					直接事業費	委託	臨時			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	スクールバスの運行	大向、長穂、大道理地区の児童	学校の統廃合により遠距離通学となった児童の通学に係る輸送	学校の統廃合による遠距離通学児童の安心、安全な通学の確保	大向、長穂、大道理地区の児童をスクールバスで送迎した。	0.25		3,030	可	否	
		(ソフト事業)										
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
		なし							改善案			
	④											
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
								改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	学校の再編整備により、児童の通学の安全を確保するためにも今後ますます必要とされる事業である。	前年度までの指摘事項	学校再編整備の進捗に伴い、本事業の拡大が必要となる。効率的かつ効果的な事業実施に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	学校の再編整備により、児童の通学の安全を確保するためにも今後ますます必要とされる事業である。	改善案	
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	児童の充実した教育環境を保障するために必要な事業である。
----	---	------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100107
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(7)学校再編整備の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

八代小スクールバスの運行及び臨時運行(交流学習等)に十分対応するためのスクールバス運行委託料及び学校再編整備に伴う遠距離通学対象者の増加に伴う補助金を増額した。 遠距離通学児童の充実した教育環境の保障に努める。
--

備考

--

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	原油、円安、電気料の値上げ等で光熱水費が増大している。	前年度までの指摘事項	エコ意識の啓発と、効率的な予算執行の意識付けにより、増加する経費の抑制に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	漏水の早期発見のためのマニュアルを作成し、各学校で実践中(夜間水量のチェック、前月、前年との比較)
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校運営のためには必要な事業であり、維持管理を効果的に推進し事業を進める。	改善案	引き続き、漏水の早期発見を各学校で実践する(夜間水量のチェック、前月、前年との比較)
----	---	---	------	---------------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	効率的な予算執行に努めるとともに、各校に対し、地道な経費削減努力の継続の意識付けを図られたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
中学校の維持管理経費を精査し計上した。 学校運営のために必要な事業であり、引き続き効率的な執行に努める。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	073038	事務事業名	中学校備品整備事業	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	施設の定期的な安全点検を実施するとともに、修繕・改修を進め、安全な教育環境を整備し、維持・管理します。			25年度市民評価の満足度	【幼児教育や義務教育】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立中学校	意図(どういう状態にしたい): 管理備品の整備・補充により、中学校が効率的かつ適正に経営され、教育効果の改善向上が図られる。	事業の内容(手段)	●管理備品の整備・補充により、中学校の効率的かつ適正な経営を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	管理備品の整備・補充により、中学校の効率的かつ適正な経営を図る。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	1,300	1,948		1,000	1,000	1,000	1,000			
事業目標	目標名	学校運営率	計算式	学校運営数/学校数	単位	%	(予算額) うち一財	千円	1,300	1,448	1,000	1,000	1,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,482	1,919	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額) うち一財	千円	1,482	1,919			
	実績値	100.0	100.0	100.0			正職員人件費	千円	1,465	1,479			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.06		
							支出コスト	千円	決) 2,947	決見) 3,398			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託	
	①	中学校備品整備事業 (施設管理運営事業)	市立中学校	管理備品の整備、拡充	中学校に必要な備品を整備する	衝立、パーテーション、ブルーヒーター、放送袖卓		0.2		1,919		否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
		なし					A	改善案					
②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	ストーブ、エアコン、放送設備等が古くなっている学校が多い。修繕よりも買い替えの方が適していることが多い。 (金額面→買い替えの方が安価である。部品がなく修繕不能)	前年度までの指摘事項	優先度に従った計画的な予算執行に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	年度当初に各中学校からの必要調査を行い、優先順位を付け執行している。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校備品の整備・補充により、学校経営の効率的適正な運営が図られる。教育効果の改善向上のためには必要な事業である。	改善案	年度当初に各中学校からの必要調査を行い、優先順位を付け執行している。
----	---	---	------	--	-----	------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	優先度による順位付けを行い、計画的な予算執行に努められたい。
----	---	--------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
老朽化する学校備品の効率的な更新をし、適正な整備・補充を行う。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071057	事務事業名	中学校教材教具費等事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	○
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	施設の定期的な安全点検を実施するとともに、修繕・改修を進め、安全な教育環境を整備し、維持・管理します。			25年度市民評価の満足度	
		【幼児教育や義務教育】	51.10%			
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市立中学校	意図(どういう状態にしたい): 教育の機会均等と教育水準の維持向上が図られる。	事業の内容(手段)	●視聴覚的情報提示機器の拡充・視聴覚教材及び教材作成機器の充実・学校図書館の充実等教育の機会均等と教育水準の維持向上を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		授業に必要な教材・備品等を各学校で選択して購入。学校図書館の図書を充実させるため、図書費として配当し、各学校で生徒に必要な図書を選択し購入。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
【26年度】									直接事業費	千円	45,890	60,083	64,699	70,254	85,395			
								(予算額) うち一財	千円	45,240	58,447	64,049	69,604	84,745				
事業目標	目標名	学校運営率	計算式	学校運営数/学校数	単位	%	事業費	直接事業費	千円	43,092	57,667	対27年度増減理由		対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	42,442	57,017	モデル校2校でタブレット端末及び校内無線LANの整備に係る賃借料(7月分)		6校でタブレット端末及び校内無線LANの整備に係る賃借料(7月分)、H28整備分(12月分)				
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		正職員人件費	千円	1,099	1,109							
	実績値	100.0	100.0	100.0				人工数	人	0.15	0.15	0.06						
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				支出コスト	千円	決) 44,191	決見) 58,776							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	教材教具等事業 (経常的事務事業)	市立中学校		学校の円滑な運営		授業に必要な教材・備品等を手当する		授業に必要な教材・備品等を各学校で選択して購入			0.13		56,367	否	可		
												細事業評価						
細事業の課題		なし						A	改善案									
事業を構成する細事業【26年度実績】	②		理科教育等設備整備事業 (経常的事務事業)		市立中学校		学校の円滑な運営		授業に必要な教材・備品等を手当する		授業に必要な教材・備品等を各学校で選択して購入			0.02		1,300	否	可
	細事業の課題		なし									細事業評価						
												A 改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度から国の学校図書館整備5カ年計画が策定され図書備品の整備を優先しなければならない。	前年度までの指摘事項	図書購入費については、学校図書館活用推進事業と併せて、計画的かつ効果的な配当に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	学校図書館図書標準を全中学校で達成できるように計画的に予算を配当していく。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校教育法第5条において、学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定のある場合を除いては、その学校の経費を負担するとあり必要な事業であるが、効果的に推進する。	改善案	学校図書館図書標準を全中学校で達成できるように計画的に予算を配当していく。
----	---	---	------	--	-----	---------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	図書購入費については、学校図書館活用推進事業と連携し、学校図書館図書基準を満たすよう計画的かつ効果的な予算配当に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
2校をモデル校に指定し、校内無線LAN及びタブレット端末を整備し授業での有効活用のための研修を実施する。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者 (課長)	松野木 豊	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	071059	事務事業名	中学校就学援助事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	施設の定期的な安全点検を実施するとともに、修繕・改修を進め、安全な教育環境を整備し、維持・管理します。			25年度市民評価の満足度	
					【幼児教育や義務教育】	51.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 就学困難と認められる生徒の保護者	意図(どういう状態にしたい): 必要な援助を与えることで義務教育の円滑な実施に資することができる。	事業の内容 (手段)	●学校教育法第19条の規定に基づき、就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、新入学生徒学用品費等を援助する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	認定基準を生活保護基準額の1.3倍未満として実施 (平成25年8月1日に見直された生活扶助基準については、適用していない。)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	全生徒数 3,915人のうち、1,044人が対象						直接事業費	千円	98,586	113,167	109,519	105,490	105,490
事業目標	目標名	就学援助率	計算式	該当生徒数/5月1日現在全生徒数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	98,364	112,889	109,290	105,261	105,261
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	94,552	102,718				
	目標値	24.5	24.5	24.5	24.5	24.5	(決算額)	うち一財	千円	94,287	102,507			
	実績値	26.2	26.9	26.7			正職員人件費	千円	1,465	1,479				
	達成度(%)	106.9%	109.8%	109.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.23			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	中学校就学援助事業 (ソフト事業)	就学困難と認められる生徒の保護者	就学困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行う。	就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施に資する。	学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、新入学生徒学用品費を援助する。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.20	0.30	102,718	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 援助対象者が約25%となっており、基準の見直しが必要となっている。					B	改善案	平成25年8月1日に見直された生活扶助基準については、国の『生活保護基準額の見直しによる影響を出不さない』という方針から、市としても、就学援助を受けている世帯の負担を考慮し、今年度は認定基準の見直しは行わなかったが、今後も検討する必要がある。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子化の影響で児童数は減少傾向にある中、援助者は増加傾向にある。	前年度までの指摘事項	平成26年度は、認定基準の見直しを行わなかったが、他市の状況も勘案しながら、見直しについての検討をお願いしたい。	指摘事項に対する改善状況	平成25年8月1日に見直された生活扶助基準については、国の方針を勘案し、市としても、就学援助を受けている世帯の負担を考慮し、今年度は認定基準の見直しは行わなかったが、今後も検討する必要がある。
	細事業の課題・問題点	援助対象者が約25%となっており、基準の見直しが必要となっている。	事業全体の課題・問題点	援助対象者が約25%となっており、基準の見直しが必要となっている。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	受給者数が全体の約25%となっており、認定基準の見直し、対象費目の検討が必要である。	改善案	平成27年度も認定基準の見直しは行わないが、引き続き認定基準、対象費目の見直しの検討をする。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	平成27年度も認定基準の見直しを行わなかったが、他市の状況も勘案しながら、適正な支援に努められたい。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
中学校在籍生徒数の減少に伴う受給者数の減少を見込み減額とした。平成25年8月に生活保護基準が改正されたことに伴う、就学援助費の認定基準については、平成27年11月に示された国の対応方針を勘案し現状維持とした。	

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071061	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(6) 特別支援教育の充実			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	特別に支援の必要な幼児及び児童生徒のために障害児補助及び生活指導員・介助員を配置し、発達障害児等に係わる支援教育を充実します。			25年度市民評価の満足度	
					【幼児教育や義務教育】	51.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 特別支援学級へ就学する援助に必要な生徒の保護者	意図(どういう状態にしたい): 中学校の特別支援学級への就学の事情を勘案し、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、特別支援学級の振興に資する。	事業の内容(手段)	●中学校の特別支援学級への就学の事情を勘案し、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減し、特別支援学級の振興に資することを目的とし、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、職場実習交通費、新入学生徒学用品費等を援助する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	特別支援教育生徒数 66人 (認定生徒数) 第2区分(前年の収入額が必要額の2.5倍未満) 23人 第3区分(" 2.5倍以上) 0人 職場実習交通費補助 0人 (校外通級児童数:単市補助) 1人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	直接事業費	千円	630	1,238		1,218	1,341	1,341					
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	439	836	610	673	673	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	770	1,050	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	(決算額) うち一財	千円	531	542				
	実績値	22.0	32.2	34.8			正職員人件費	千円	733	740				
	達成度(%)	62.9%	92.0%	99.4%			人工数	人	0.10	0.10	0.21			
							支出コスト	千円	決) 1,503	決見) 1,790				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否				
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時囑託			
	①	中学校特別支援教育就学奨励事業(ソフト事業)	特別支援学級へ就学する援助に必要な生徒の保護者	特別支援学級への就学の特殊事情を勘案し、保護者の経済的負担を軽減する。	特別支援学級への就学の特殊事情を勘案し、保護者の経済的負担を軽減する。	(認定生徒数) 第2区分 23人 第3区分 0人 職場実習交通費補助 0人 (校外通級児童数) 1人	0.10	0.00	1,050	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし					細事業評価							
②						A	改善案							
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子化の影響で児童数は減少傾向にあるが、本事業の対象者は減少傾向にない。	前年度までの指摘事項	引き続き、事業効果に留意しながら、国の基準により事業実施されたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	必要な事業であるため、引き続き事務効率化を図り実施する。	改善案	
----	---	--	------	------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	引き続き、事業効果に留意しながら、適正な支援に努められたい。
----	---	--------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100105
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(5)特別支援教育の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成25年8月に生活保護基準が改正されたが、その影響が生じないようこの国の対応方針が示されたため、前年度と同様の扱いとした。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	071063	事務事業名	中学校生徒輸送事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 11 教育内容の充実	基本方向	子どもたち一人ひとりの特性や能力を伸ばし、豊かな心の育成を基本として、「確かな学力」、「生きる力」を育む教育の充実を図る。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(7) 学校再編整備の推進			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開	教育環境を充実させ十分な教育効果を得るため、小・中学校の学校再編整備を推進します。			25年度市民評価の満足度	【幼児教育や義務教育】 51.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 中学校の統合の際、遠距離通学となることで通学補助が必要となった生徒	意図(どういう状態にしたい): 遠距離通学生徒の通学費の補助等を行うことで通学の安心安全を確保できる。	事業の内容(手段)	●中学校の統廃合等による遠距離通学生徒の通学費の補助等を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		学校の統廃合による遠距離通学生徒の通学費の補助を行った。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
【26年度】								直接事業費	千円	8,620	9,873	7,500	9,522	9,522				
								(予算額) うち一財	千円	8,620	9,873	7,500	9,522	9,522				
事業目標	目標名	補助実施率	計算式	補助実施率	単位	%	直接事業費	千円	6,903	7,305	対27年度増減理由		対28年度増減理由					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	6,903	7,305	スクールバス運行委託料の増額及び遠距離通学費補助金の増額							
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	正職員人件費	千円	2,637	2,662								
	実績値	100.0	100.0	100.0			人工数	人	0.36	0.36	0.17							
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 9,540	決見) 9,967								
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	遠距離通学補助	遠距離通学補助の必要な生徒		学校の統廃合による遠距離通学生徒の通学費の補助		学校の統廃合による遠距離通学生徒の安心、安全な通学の確保		須金、譲羽地区の遠距離通学の補助を行った。			0.15		2,398	否	否		
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						A	改善案								
	②	スクールバスの運行	八代、大向、長穂、大道理地区の生徒		学校の統廃合により遠距離通学となった生徒の通学に係る輸送		学校の統廃合による遠距離通学生徒の安心、安全な通学の確保		八代、大向、長穂、大道理地区の生徒をスクールバスで送迎した。			0.25		4,907	可	否		
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						A	改善案									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	学校の再編整備により、生徒の通学の安全を確保するためにも今後ますます必要とされる事業である。	前年度までの指摘事項	学校再編整備の進捗に伴い、本事業の拡大が必要となる。効率のかつ効果的な事業実施に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	学校の再編整備により、生徒の通学の安全を確保するためにも今後ますます必要とされる事業である。	改善案	
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	生徒の充実した教育環境を保障するために必要な事業である。
----	---	------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100107
分野	1教育・子育て
基本施策	1教育の充実
推進施策	(7)学校再編整備の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
部活動等に十分対応するためのスクールバス運行委託料及び学校再編整備に伴う遠距離通学対象者の増加に伴う補助金を増額した。遠距離通学生徒の充実した教育環境の保障に努める。	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	72008	事務事業名	児童・生徒・教職員健康管理事業	担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者(課長)	松野木 豊	評価責任者(部長)	松村 悟
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる		実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度		
	推進施策	(1) 教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】 38.30%		
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度		
					【幼児教育や義務教育】 51.10%		
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 児童生徒、教職員の心身の健康 学校環境衛生		意図(どういう状態にしたい): 保持増進を図り、安心安全に学ぶことにより、学校教育の円滑な実施につなげる。		事業の内容(手段)	学校保健安全法の規定により、児童生徒、教職員の健康保持増進と学校環境衛生の維持改善を図る。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○児童生徒、教職員の各種健康診断 ○学校医、学校歯科医、学校薬剤師による健康診断及び健康相談並びに保健指導 ○学校環境衛生に係る各種検査及び保守管理業務 ○保健室等の管理業務 ○学校災害保険業務 ○学校保健会(周南市及び山口県)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	159,357	158,485	154,384	155,693		151,644						
事業目標	目標名	むし歯のない児童生徒	計算式	むし歯のない児童生徒数/全受検者	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	159,357	158,485	154,384	155,693	151,644
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	150,764	150,640	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	5,507.0	5,416.0	5,439.0	5,500.0	5,500.0	(決算額)	うち一財	千円	150,764	150,640	・法の改正による 健診項目変更への 対応 ・健診機器の更新		健診項目変更への 対応及び健診 機器の更新 対応が完了したこと による減
	実績値	11,992.0	11,763.0	11,658.0			正職員人件費	千円	13,405	13,533				
	達成度(%)	45.9%	46.0%	46.7%			人工数	人	1.83	1.83	1.65			
							支出コスト	千円	決) 164,169	決見) 164,173				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 健康管理事業 (経常的事務事業)		児童生徒・教職員	心身の健康の保持増進	児童生徒、教職員の心身の健康の保持増進により学校教育の円滑な実施	健康診断(児童生徒、教職員、就学時)、学校医等との協議調整、健康保持増進	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
	なし						B	改善案	各種委託業務について、効果的な手法での実施に努める。					
② 環境管理事業 (経常的事務事業)		各小中学校	学校環境保健衛生の維持管理	学校環境及び保健衛生の適切な維持管理により、学校教育の円滑な実施	学校の環境衛生に関する各種検査及び保守管理業務 保健室関連用品の管理業務	0.31		15,446	可	可				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
なし						B	改善案	各種委託業務について、効果的な手法での実施に努める。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③	学校災害保険事業 (ソフト事業)					児童生徒	学校管理下における児童生徒の災害に関し必要な給付	学校管理下における児童生徒の災害に対する備え 学校施設の瑕疵や管理不備等による不慮の災害への備え	日本スポーツ振興センター災害共済加入手続き 災害報告集計及び給付金(医療費)の支払	正職員	臨時等
			0.22		11,677	否					否	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	なし					A	改善案					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	④	学校保健会事業 (ソフト事業)					周南市学校保健会 山口県学校保健連合会	学校における保健、環境衛生、安全の整備充実のための調査、研修や保健衛生の普及啓発	児童生徒、教職員の心身の健康の保持増進及び適切な学校環境の維持により、学校教育の円滑な実施	周南市学校保健会事務局業務 山口県学校保健連合会負担金	0.3	
				<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他							細事業評価	
	なし					A	改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H25から「医師の立会なくレントゲン撮影を行うことは、診療放射線技師法に違反する」との厚生労働省の見解により、教職員健康診断の実施方法を変更した。H27から放射線技師法の改正により「健康診断として胸部X線撮影のみを行う場合に限り医師または歯科医師の立会いを求めない」とされた。	前年度までの指摘事項	引き続き、他市の状況を調査し、効果的な手法について研究を継続されたい。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校保健安全法及び同法施行令の規定に基づき進める。	改善案	効果的な手法での実施に努める。
----	---	---	------	---------------------------	-----	-----------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	国の見解により、実施方法の変更がなされたが、学校の意見や他市の状況も参考にして効果的な実施に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き、学校の意見や他市の状況も参考にして効果的な実施に努める。	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	072011	事務事業名	医療扶助事業	担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者 (課長)	松野木 豊	評価責任者 (部長)	松村 悟
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる		実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度		
	推進施策	(1) 教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】 38.30%		
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度		
					【幼児教育や義務教育】 51.10%		
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 保護者の経済的理由で未治療となる児童生徒		意図(どういう状態にしたい): 治療を完了し、健康を守る。		事業の内容 (手段)	就学援助の認定を受けた世帯のうち、定期健康診断において学校保健安全法に該当する病気で治療が必要と指示を受けた児童生徒の保護者の申請に基づき医療費を援助する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		○就学援助の認定を受けた世帯で、定期健康診断において学校保健安全法に該当する病気で治療が必要と指示を受けた児童生徒の保護者の申請に基づき医療費を援助					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】								直接事業費	千円	2,072	2,072	2,072	2,072	2,072
								(予算額) うち一財	千円	2,036	2,036	2,036	2,036	2,036
事業目標	目標名	年間申請件数	計算式	年間申請件数	単位	%	直接事業費	千円	1,597	1,300	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	1,525	1,298				
	目標値	579.0	466.0	392.0	392.0	392.0	正職員人件費	千円	1,026	1,035				
	実績値	579.0	466.0	392.0			人工数	人	0.14	0.14	0.12			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 2,623	決見) 2,335				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 医療扶助事業 (ソフト事業)		就学援助認定世帯で、定期健康診断において法に基づく病気で治療が必要と指示を受けた児童生徒	保護者の経済的理由による未治療の児童生徒の治療	保護者の経済的理由により未治療となる児童生徒の治療を完了し健康を守る	申請のあったすべての者に対し医療費を援助した	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	可	
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他		就学援助の認定基準見直しに合わせて進める。					B	改善案	就学援助の認定基準見直しに合わせて進める。				
	②													
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他					細事業評価							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	就学援助の認定基準の見直しに合わせて基準を見直したい。	指摘事項に対する改善状況	就学援助の認定基準見直しに合わせて進める。
		細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			学校保健安全法及び同施行令の規定により、周南市小・中学校児童生徒就学援助条例の基準において事業を進める。	就学援助の認定基準見直しに合わせて進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	就学援助については平成27年度は認定基準の見直しを行っていないが、就学援助と同様に他市の状況も勘案しながら適正な支援に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、就学援助と同様に他市の状況も勘案しながら適正な支援に努める。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・学校教育課	評価者 (課長)	松野木 豊	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	072014	事務事業名	学校廃棄物対策事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 1 充実した教育環境で学べる	実施計画	×
	基本施策	I 12 教育環境の整備・充実	基本方向	子どもたちが、安心・安全に学び、「生きる力」を育むことができるよう教育環境等の整備・充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 教育施設等の整備			【幼児教育や義務教育】	38.30%
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度	【幼児教育や義務教育】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 学校から排出される廃棄物	意図(どういう状態にしたい): 計画的な排出と排出量削減により、学校環境の整備と環境学習へつなげる。	事業の内容 (手段)	学校からの廃棄物の適正な分別排出及び資源回収の徹底を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○学校から依頼のあった粗大ごみや植木等の廃棄物処分 ○学校における分別排出及び資源ごみ回収の徹底 ○理科室等の不用薬品処分(3年毎 →27年度実施次は30年度実施)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	2,812	2,312	3,853	2,273		2,273							
事業目標	目標名	ごみ処分件数	計算式	ごみ処分件数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	2,812	2,312	3,853	2,273	2,273	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,578	2,011	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	28.0	30.0	29.0	29.0	29.0	(決算額)	うち一財	千円	2,578	2,011	不用薬品の処分 (3年毎)			
	実績値	28.0	30.0	29.0			正職員人件費	千円	952	961					
	達成度(%)	100%	100%	100%			人工数	人	0.13	0.13	0.10				
							支出コスト	千円	決) 3,530	決見) 2,972					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否			
	①	学校廃棄物対策事業 (経常的事務事業)	各小中学校	学校廃棄物の適正な分別 処分 資源回収の徹底	学校の環境整備と環境学習の向上	学校廃棄物の処分 不用薬品の処分(3年毎)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	細事業の課題	なし						B	改善案	各学校へ対し適正な分別及び排出について周知する。 地区毎に一括処分するなど、効率的かつ経済的な実施に努める。					
②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
								改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
			④		細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化		前年度までの指摘事項	廃棄物の減量化に努め、経費の削減を図るとともに、環境学習の一環としてごみの分別、資源ごみの回収等に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	各学校へ対し分別及び排出について周知する。地区毎に一括処分するなど、効率的かつ経済的な実施に努める。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	学校運営上、廃棄物対策は不可欠な事業である。廃棄物の処理及び清掃に関する法律、周南市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例に基づき適正に実施するとともに、効率的かつ経済的な方法に努める。	改善案	必要最小限で実施するとともに、効率的かつ経済的な方法に努める。
----	---	---	------	---	-----	---------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	廃棄物の減量と分別排出の徹底による資源ごみの回収に努められたい。環境教育の一環としての意識啓発に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100201
分野	1教育・子育て
基本施策	2教育環境の整備・充実
推進施策	(1)教育施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き、必要最低限で実施し、効果的かつ経済的な実施に努める。	

備考

備考
